

ふれあい さいせい



発行
済生会西条病院
2015年8月 第67号

西条市朔日市269-1
TEL(0897)55-5100



ミヤマナツアカネ 撮影：循環器内科 金子 伸吾 先生

ごあいさつ

西条医療福祉センター長 長櫓 巧

「夏に多い脳梗塞」について

脳神経外科 浦元 広

超電導磁気共鳴画像診断装置
(Ingenia 1.5T MRI) を更新しました

画像センター技師長 山内 務

院内学会を開催しました

医療秘書課 神原 勝巳

市民公開講座を開催しました

社会福祉課 高橋 行夫

紹介患者さん専用窓口を設置しました

地域医療連携室 山中 知也

ハイケアユニット(高度治療室)に変わりました

ハイケアユニット治療室 秋山 直美

新任医師のご紹介

ペインクリニック外科(痛み外来)を開院しました

地域医療連携室 山中 知也

平成27年度宇和海合同検診が行われました

検診課 難波江 由夏

新潟済生会 中国ブロック難病サポート大会が行われました

医事課 浅田 璃子

平成27年度いしづち菟夏祭り

いしづち苑看護師 田鍋 章子

畑作り真っ最中!!

特養生活相談員 青野 咲希

ごあいさつ

西条医療福祉センター長 長櫓 巧



西条医療福祉センター長
長櫓 巧

石鎚山のお山開きの祭礼が終り、本格的な夏を迎えます。西条は山、水、海に恵まれた自然豊かなところです。私は、本年4月に赴任し、東温市と違う西条の日々の自然の変化を楽しんでおります。

市政だよりとともに西条市防災マップが届きました。マップには南海トラフ巨大地震発生時には当病院を含めた海岸近くでは津波、液状化の危険性があり、甚大な被害が起きる可能性が示されており、驚きました。天災は予想しないところに、予期しない時にやってきます。備えあれば憂いなしの状態にしておきたいものです。

当センターは西条地区の医療・福祉・介護を担ってきています。我が国では、高齢化社会が進み、現状では医療費の更なる上昇が起こるのは必至であり、増大する医療費の抑制の為に、今より一層、効率よく医療を行うことが必要になります。今後、病床数の減少、病床の機能分化、診療報酬の引き下げ、在宅医療・介護の重視などの施策が行われると思います。これらの変化には、各職員が、施設・職種間の枠を越え、“病める人に尽くし、すべての病める人を幸せに”の気持ちを忘れずに、力を合わせて対応することが大切です。

皆さんの力で“済生会西条医療・福祉センターがあるから、西条で安心して暮らせる、西条に住みたい”を実現しましょう。

「夏に多い脳梗塞」について

脳神経外科 浦元 広

どのような病気でしょうか？

脳の血管が詰まったり破けたりすることによって生じる病気を「脳卒中」と呼びます。脳卒中には脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。

その脳卒中の一つである脳梗塞は、脳を栄養している血管が詰まったり細くなったりして血液が不足し必要な血液を得られない箇所の脳組織が死に至るものをいいます。

脳卒中は冬に多いイメージがありますが、脳出血とくも膜下出血は冬に多いものの、脳梗塞は夏に発症することが多いとされています。その理由の一つとしては、暑さにより発汗が多くなり脱水状態になりやすいことが考えられています。脱水になると血液中の水分が減少し血液の粘度が増し血栓（血液の塊）ができやすくなります。また、水分の不足により体を流れる血液量も減少し血管が詰まりやすくなります。



脳梗塞の分類と症状

一般的には、脳梗塞は詰まる血管の太さやその詰まり方によって3つのタイプに分類します。

(1) ラクナ梗塞

脳の太い動脈から分岐し脳を貫いている0.1～0.3mm程度の非常に細い動脈が主として動脈硬化により閉塞したものです。

(2) アテローム血栓性脳梗塞

脳の太い動脈の内腔が動脈硬化によりアテロームというコレステロールの塊で狭くなったり閉塞したりして生じるものです。

(3) 心原性脳塞栓症

主として心房細動という不整脈が原因で心臓内に血栓が生じ、それが血流に乗って脳の血管に運ばれ、そこで血流を塞いでしまうものです。

脳梗塞の症状は、脳梗塞を生じた部位や大きさによって異なります。運動に関連する場所に生じれば、手足や顔面の麻痺を起こします。また、感覚に関係する部位であればしびれが生じたり、温度や痛みがわかりにくくなったりします。また、言語の中樞が障害されれば言葉が出にくくなったり、他人の言うことが理解できなくなったりします。さらに、大きな脳梗塞が生じた場合には命にかかわることもあります。

脳梗塞の予防と対策

脳の血流が悪くなったり脳血管が血栓で詰まるのが脳梗塞の原因ですから、脳梗塞の予防には、血液の流れを良くして血栓ができにくいように血液を固まりにくくサラサラにしておくことが重要です。体が脱水傾向にあるとき、血液は濃縮されてドロドロになり固まりやすくなります。

脳梗塞が発症しやすい時期と時間帯は、6月から8月の夏場、睡眠中と朝の起床後2時間以内とされています。そのため就寝前と起床後にコップ一杯ずつの水を飲むことが脳梗塞予防につながるといわれています。夏の多汗、高齢者は脱水になりやすく、これは血液の流れを悪くする要因になります。適度な水分摂取は脱水を防ぎ、脳梗塞だけでなく熱中症の予防にもなります。

なお、脳梗塞の発症は夏場の脱水だけでなく、加齢や生活習慣と深くかかわっています。脳梗塞の3大危険因子といわれる高血圧、糖尿病、脂質異常症の予防・改善には、食事や運動、喫煙、飲酒など生活習慣の改善が大変重要です。また、心原性脳塞栓症については、心房細動など不整脈の管理が重要です。

超電導磁気共鳴画像診断装置 (Ingenia 1.5T MRI) を更新しました

画像センター 技師長 山内 務

平成27年2月14日～3月29日までの43日の工事期間を要して新規にPHILIPS製超電導磁気共鳴画像診断装置（以下MRI）を更新しました。MRI装置の技術進歩は秒針秒歩で、ハードウェア、ソフトウェアの進歩とともに新しい撮像技術の向上、高分解能撮像など画質の向上により、MRI診断の適応は脳神経、整形領域にとまらず心血管、消化器、泌尿器、婦人科領域など全身、各科に広まってきています。これまでの形態診断、存在診断から機能診断が可能となり、また診断だけでなく被ばくがないという特長から術後の経過観察などでの使用の期待が高まりつつあります。

今回のIngenia 1.5T MRI装置は業界最高クラスの傾斜磁場システムと世界初のデジタルコイルの融合により最高峰のMRIシステムです。デジタルコイルは、コイル内でMR信号をアナログからデジタルに変換することで、最もノイズ混入のない理想的な信号処理を実現しています。またMR本体側の同時受信RFチャンネル数に限界がないため、無限の拡張性を可能にしています。



特長として

* 「最新のコイルを使用することで非造影MRAの画質向上が可能」

頭頸部から全脊椎までひとつのコイルで撮像が可能な最新のコイルが使用できます。最新のコイルを使用して頭部の撮像を行った際には、12チャンネルの受信となるため、非造影による頭部MRIの画質が向上します。

* 「造影剤を使用することなく、脳血流の確認が可能」

3D撮像による全脳をカバーした非造影のPerfusion撮像によるカラーのCBFMapの作成が可能です。非侵襲的な検査であるため、救急の検査やフォローアップの検査へも対応することが可能です。

* 「急性期脳梗塞に対しても対応が可能」

Perfusion技術である3DASL法は従来法では約5分の撮像時間を要するのに対し、最新の手法では従来法に比べて約半分の時間での撮像が可能となります。更に、造影剤を使用することなくPerfusion撮像が行えるため、急性期脳梗塞患者の検査にも非常に有用であると考えられます。

* 「造影剤を使用することなく下肢血管の描出が可能」

造影剤を使用しない非造影の下肢血管撮像における画質の向上が期待できます。非造影の下肢血管撮像においては、心拡張期と心収縮期の差分と取ることで従来法（TOF法）よりもより鮮明に下肢動脈の描出が可能となる最新の手法を使用することが可能です。

* 「腎機能の悪い患者さんにも造影剤を使用することなく動脈の描出が可能」

非造影による腎動脈撮像の機能を使用することで、副作用の心配をせずに検査が行えるため、これまで諦めていた検査が実施できます。

* 「心臓を3～4つの領域に分けて撮像することで明瞭な冠動脈撮像が可能」

造影剤を使用しない冠動脈撮像における画質の向上にも期待できます。最新の手法（3D Heart）を使用することで冠動脈の末端までしっかりと血流の信号を取得することができます。また造影剤を使用せずに全脳の血流量の確認を行う機能や、下肢血管や腎動脈を非造影で明瞭に描出する機能があります。患者さんの身体的負担や副作用のリスクを最小限に抑えた検査が可能になると期待しています。

院内学会を開催しました

医療秘書課 神原 勝巳

済生会西条病院では年に1度、院内すべての部署が集まって『院内学会』を開催しています。今年は4月18日に開催されました。

院内学会では各部署の目標を具体的な『ビジョン』として設定、BSC（バランス・スコア・カード）に基づいて発表し、業務の改善、向上を図っています。

BSCにおいて『ビジョン』は『財務の視点』、『顧客の視点』、『プロセスの視点』、『学習と成長の視点』に分けられ、さらにそれぞれを『目標』、『評価方法』、『目標値』、『実施項目』に分け、具体的な目標の実現方法について

ビジョン(目標)：依頼される外科医への提供

視点	目標	評価方法	目標値	実施項目
財務的視点：結果的にどのような利益をもたらすのか？	入院患者数の増加	患者数と平均在院日数	在院日数1割低下と患者数1割増加	医師課からの依頼
顧客の視点：ビジョンを達成するために顧客に向を提示する必要があるのか？	バスの利用	退院日の達成	90%以上	バリアンス・チェック
プロセスの視点：顧客を満足させるために、どのビジネスプロセスに卓越する必要があるのか？	合併症発生率	発生率	5%未満	診療情報からの抽出
学習と成長の視点：ビジョンを達成するために、私たちはどのように学習して、改善するべきか？	専門医取得	取得の有無	維持	学会、論文発表

BSC（バランス・スコア・カード）の例



検討します。各部署が掲げるビジョンはそれぞれ異なりますが、ビジョン達成に向けた行動は業務の改善や効率化に繋がり、最終的には患者さんのためになると私たちは信じています。



市民公開講座を開催しました

社会福祉課 高橋 行夫



済生会西条病院は地域貢献の一環として今年度も2回の市民公開講座を開催します。その第1回目が平成27年6月24日に西条市総合福祉センターにおいて開催されましたので紹介します。

今回は放射線科部長 大谷 治彦 先生により「PET/CTについて」というテーマで講演が行われ、市内各所から60名の参加がありました。

PET/CTとはどのような検査か、検査のしくみや方法など最先端技術について、実際に画像や解析手法を示しながら詳細な説明がありました。

PET/CTの特徴として、一度の検査で体全体のがんを調べることができることや初期の小さいがんが発見できること、治療後の転移・再発の診断にも効果的であることなどが紹介されました。

また、がん発症の原因や進行のしかたなどにも触れ、生活習慣の改善による予防と、検診による早期発見・早期治療に努める必要性についてアドバイス

がありました。

PET/CTは、一般に普及していない検査方法であるだけに、専門医師によるわかりやすい解説に、参加者から「とても参考になった」という声が多く聞かれ、関心を強く持たれたようでした。

第2回目は平成27年10月29日(木)に西条市総合福祉センターで、脳神経外科部長 浦元 広 先生により「脳卒中について」というテーマで開催予定となっております。

市民公開講座は、一昨年から今回で7回の開催を重ね、地域医療の中核的な役割を担う当院の重要な活動のひとつとして定着しつつあります。今後も、積極的な活動を通して、市民の皆様の健康で豊かな生活支援に努めていきたいと考えております。



紹介患者さん専用窓口を設置しました

地域医療連携室 山中 知也

平成27年4月1日に地域の先生方から紹介いただいた患者さんが、初めて来院される場合も安心してお越しいただけるよう1階正面玄関ロビー（正面玄関入って左側）に紹介患者さん専用窓口を開設しました。受付の際は、患者さんのご負担が少しでも少なくなるよう、座ってゆっくりと対応できる対面式となっています。

また、当窓口では地域の先生方からの診療・各種検査の事前予約、かかりつけ医へのご紹介（逆紹介）も合わせて対応させていただきます。紹介患者さんの受付、ご案内から返書管理、当院での治療・終了まで一連した業務を迅速かつ確実にいき、地域の先生方からより信頼されるよう取り組んで参りたいと考えております。



ハイケアユニット（高度治療室）に変わりました

ハイケアユニット治療室 秋山 直美

ハイケアユニット（High Care Unit）とは、一般的にはICU（Intensive Care Unit 集中治療室）と一般病棟の間に位置する病棟で、HCUとも呼ばれています。

平成27年4月からの診療上の基準変更に伴い、ICUからHCUに名称が変更されました。名称は変更されましたが、診療科を問わず重症度が高く高度な治療や看護ケア、処置が必要な患者さんや、全身麻酔下での手術後の術後管理が必要な患者さんを今までと同様に受け入れています。

HCUの稼働開始に伴い変更した点が2点あります。面会時刻をICUの時には9時・12時・18時から1時間ずつとしていました。名称変更に伴い面会時間も変更し、面会がしやすくなるよう10時から13時、17時30分から20時に延長しました。同時に面会時のガウン着用を廃止しました。面会が可能な人数は近親者で3名程度、6歳未満は面会できないこと、及び1回10分程度の面会時間の制限は今までと同じです。

HCUは現在、12名（看護助手1名含む）が勤務しています。平均年齢は……!?です（予想より高齢だったので内緒にします）。高度な医療に対応できるよう知識・技術の向上を図ることは勿論ですが、『思いやりのある看護の提供』を今年度の看護目標に掲げ、患者・家族の不安の軽減、医療安全に留意した安全な質の高い看護が提供できるよう頑張っ参ります。これからもHCUをよろしく願います。



新任医師のご紹介

済生会に加わった新任の医師をご紹介します。みなさん、これからよろしくお願いします。

- ① 名前
- ② 診療科
- ③ 趣味
- ④ ひと言



- ① 長橋 巧 (ながろ たくみ)
- ② 麻酔科、ペインクリニック外科
- ③ 野山の散策
- ④ 長い大学勤務から、初めての大学の勤務です。新たな経験を楽しみにしています。



- ① 西山 泰由 (にしやま やすゆき)
- ② 病理診断科、検診センター
- ③ ヨガ
- ④ 西条ははじめてです。よろしくお願いします。



- ① 羽田野 雅英 (はたの まさひで)
- ② 外科
- ③ ライザップ
- ④ 平成27年4月から当院に勤務することになりました。早く新しい環境に慣れるように頑張りたいと思います。



- ① 井上 卓 (いのうえ たかし)
- ② 整形外科
- ③ スポーツ、音楽、旅行など
- ④ 西条市に住むのは初めてですが、これからの生活が非常に楽しみです。整形外科医として一生懸命頑張っていくのでよろしくお願いします。



- ① 松阪 隆範 (まつさか たかのり)
- ② 整形外科
- ③ スポーツ(ラグビー、サッカー etc)
- ④ まだまだ不慣れですが、よろしくお願いします。



- ① 岩村 文貴 (いむら ふみたか)
- ② 内科
- ③ サッカー
- ④ まだまだ未熟者でご迷惑をおかけすると思いますが何卒よろしくお願いします。



ペインクリニック外科(痛み外来)を開設しました

地域医療連携室 山中 知也

平成27年5月1日にペインクリニック外科を開設しました。ペインクリニック外科は、あらゆる部位および種類の痛みの治療を行います。痛みによっておられる患者さんの症状を和らげるとともに、痛みに対する付き合い方を共に寄り添って考え、より良い日常生活を送っていただけることを目標としております。痛みでお悩みの患者さんがおられましたら、一度ご相談いただけましたら幸いです。

診察日時：毎週火曜日 14：00～17：00 ※予約制
 診察室：外科2診察室
 担当医師：西条医療福祉センター長 長橋 巧 (ながろ たくみ)
 受診ご希望の方は、総合受付まで問い合わせください。
 済生会西条病院 TEL：0897-55-5100



平成27年度宇和海合同検診が行われました

検診課 難波江 由 夏

5月と7月に宇和海合同検診が行われました。
本年度も一次の合同検診では、採血や胃の透視検

査などの健康診断を行い、二
次の合同検診では、内科・整
形外科・小児科・眼科・外科
(乳腺)の診察を行いました。

また、今回の合同検診では、
特定健康診査を実施しました。
初めての試みでしたが、スタ
ッフをはじめ研修医の先生方
や愛媛大学の医学生も熱心に
検診に取り組んでおりました。

各島々では、船が到着する
と島民の皆さんに温かく出迎
えてくださり、明るい雰囲気

の中で行うことができ、充実した合同検診となり
ました。



第37回済生会 中・四国ブロック 親善ソフトボール大会が行われました

医事課 浅田 璃子

平成27年7月12日(日)岡山県百間川緑地で第
37回済生会 中・四国ブロック親善ソフトボール
大会が行われました。前日まで不安定な天気が続
きましたが、今年こそは！と全国大会出場を目指
す選手の気持ちが届き、天候にも恵まれ試合開始
となりました。

試合は2つのブロックにわかれて行われました。
西条病院の初戦の相手は広島病院でした。初回、
広島病院に4点を取られ厳しいゲーム展開になり
ました。その後、西条病院の攻撃で連打が続き6
-4と逆転するものの最終回に3点取られ6-7
となり、とても悔しい結果となりました。

今回は残念な結果となりましたが来年は全国大
会の切符を手にするように選手一丸

となって頑張ります。朝早くから応援に来てくだ
さった職員の方、また病院で残って応援してくだ
さった職員の方、ありがとうございました。



平成27年度 いしづち苑夏祭り

済生会西条老人保健施設いしづち苑 看護師 田 鍋 章 子

去る7月25日(土)いしづち苑夏祭りを開催しました。常光苑長のあいさつで開会。西条祭彩華の華麗なよさこい踊り、次の演目までの時間に急遽快く引き受けて下さった道前太鼓の演奏が夏の夜空に響き渡っていました。その後、Go!Go!Jam Dance Clubによるパフォーマンス。今年も、いしづち苑で踊ることを楽しみにしていたようで、パワフルなキッズダンスを披露して頂きました。そして、再び道前太鼓による勇壮な演奏とパフォーマンス、いしづち苑職員による盆踊りなどで夏祭りを盛り上げていただきました。

今年も「三世代交流」をテーマに「縁日」「バザー」を行いました。縁日ではスーパーボールすくい、射的、輪投げ、うちわ作りが人気でたくさんの子供たちが楽しみ、親も楽しみ、おじいちゃんも楽しんでいる場面もありました。今回、利用者家族の参加も多く家族とのひと時を過ごす利用者様の笑顔がとても素敵でした。今年は新たに、七夕飾りをスタッフが色々考え作成。利用者様も花を作ってください、出来上がりを見守り楽しみにしていたので、当日風になびく七夕飾りを喜んでくださいました。

台風の接近が気になっていましたが、幸いにも天候に恵まれ、前日からのテント設営や当日の準備も皆さんの協力のもとスムーズに行うことができました。猛暑の中、忙しい仕事の合間をぬってたくさんのスタッフに準備・参加して頂き、特養の職員の方も協力して下さり、大盛況で無事に夏祭りを終えることができました。

また今回改めて、西条医療・福祉センター内の職員の団結力・助け合い・思いやりの心、また利用者様に喜んでほしいと思う気持ちを感じました。夏祭りに関わって下さった皆様、この場を借りて感謝・御礼申し上げます。ありがとうございました。今後も、済生会の精神で盛り上げ、頑張っていきたいと思えます。



〔特 養〕

畑作り真っ最中!!

西条特別養護老人ホーム 生活相談員 青 野 咲 希

私たちは平成27年2月1日の西条特別養護老人ホーム開設と同時に、済生会西条デイサービス事業所の運営も開始しております。

ここでは、月曜日から土曜日まで利用者さんに体操や多彩なレクリエーションなど各種の活動を通じて、楽しく過ごしていただいています。

今回はデイサービスでの畑づくりをご紹介します。まだまだ「畑」と呼ぶには、はばかれる荒れ地のような畑ですが、デイサービスから見える作物の成長が利用者さんや職員の楽しみにつながっています。水やりも作物が枯れないように1日2回きちんと行いました。色々な世話の甲斐もあり、先日初めての



収穫をすることができました。収穫した作物は「二十日大根」です。赤くて丸っこい二十日大根は、サラダや漬物にするおいしいと利用者さんから教えていただきました。このように、種まきから収穫後のことまで利用者さんに知恵をいただきながら活動でき、大変うれしく感じました。

現在は野菜以外にもなでしこや胡蝶蘭などの花や樹木も育てており、今後いろいろなものに挑戦していく予定です。

畑は西条特別養護老人ホームの東側にあります。ぜひ皆様にもご観賞いただき、たくさんの知恵を拝借しながら、これからも充実した活動にしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。